



地域日本語支援ニュース こだま 第 239 号

2013.8.22



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

=====

1. ■ともに 生きる■

～ジャパニーズ・ドリームを信じますか～

「未来をさがそう!」(高校進学ガイダンス) 実行委員長

北部日本語学習支援連絡会(埼玉県) 当間ミゲル(ペルー出身)

■進学進路ガイダンス情報■

高校進学説明会情報(9月・10月)

*今回は9月・10月に関する新しい情報はありませんので、前号をご覧ください

2. 平成 25 年度文化庁日本語教育大会開催

8月30日(金)・31日(土) 於 昭和女子大学

3. 日本語能力試験情報

2013 年第 2 回日本語能力試験 12 月 1 日(日) 実施

=====

1. ■ともに 生きる■

～ジャパニーズ・ドリームを信じますか～

「未来をさがそう!」(高校進学ガイダンス) 実行委員長

北部日本語学習支援連絡会(埼玉県)

当間 ミゲル(ペルー出身)

埼玉県の北部は、南米の市民が多く住んでいる地域となっています。
この地域で高校進学ガイダンスが実施されて数年になります。北部
日本語学習支援連絡会が、ガイダンスの名前を「未来をさがそう!」

と変更し、深谷市でスタートしてから3年目を迎えました。その実行委員長として、外国人市民の声を届ける大きな力となっている当
間ミゲルさんに、「未来をさがそう！」の意味を、そして連絡会のメ
ンバーで、AJALT 所属教師の松尾から、その活動を紹介します。

-----☆☆☆☆☆☆

ジャパニーズ・ドリームを信じますか。アメリカにアメリカン・ドリームがあるように、私は日本にもジャパニーズ・ドリームが存在すると思っています。アメリカン・ドリームは、アメリカ合衆国における成功の概念。均等に与えられる機会を活かし、勤勉と努力によって勝ち取ることの出来るものとされています。

私は今から約23年前の1990年にペルーから来日して、日本語が全くわからないまま埼玉県深谷市立の小学校6年生に編入し、義務教育を受けました。この時、日本の教育方法とペルーの教育方法が違うことを知ることができました。

◆受験体験◆

中学校3年生になり、受験や進学という言葉をよく聞くようになり、学校では三者面談が実施され進学について話し合いや相談をしていました。しかし担任の先生の言葉を通訳するのは子どもである私でした。そのため、親に対して全てを通訳するのは難しいことでしたし、自分にとって都合の悪いことは通訳しないことも、しばしばありました。2学期に高校進学を決心しましたが、私の両親は日本の学校システムを理解していなかったため、教育システムを理解してもらうまで、先生には私自身が説明をしました。その後、受験を経験して県立高校に入学し、卒業後語学の専門学校に進学し、都内の貿易会社に勤務をして社会人となりました。

今から6年前の2007年に埼玉県の北部地域で、「日本語を母国語としない子どもと保護者のための高校進学ガイダンス」を実施している団体、北部日本語学習支援連絡会に出会いました。来日した当時に通っていた塾の先生の誘いがきっかけで、その団体でボランティア活動をするようになりました。

◆同じ悩みをもつ子ども達◆

活動をするうちに、会場でかつて私が中学生の頃に抱いていた不安や悩みを、

そのままもって参加したと思える外国籍の中学生やその保護者に出会いました。こどもたちの悩みには共感することが多くありました。また保護者側が教育システムを理解されていないため、子どもの進学を反対する方もいました。

しかしながら、日本の教育システムを説明することにより進学の必要性を理解してもらおうと、最後には子どもと一緒に笑顔で帰って行く姿がとても印象的でした。私はその笑顔がとても好きです。

◆「未来をさがそう！」◆

進学に関する情報を伝える会を、埼玉県北部地域で毎年1回実施しています。今年は、深谷市で4回目の実施になります。現在、行政、地域住民、外国籍住民が一丸となって進めています。外国籍の小・中学生を対象に、高校進学が最終の目的なのではなくて、それはあくまでも一つの通過点であることを説明しています。海外から日本の学校に入ってきて高校受験を体験したり、社会人となっている方達の体験談を豊富に聞く時間を大切にしています。ですから名前を「未来をさがそう！」に変更しました。

ここには、日本にいる全ての外国籍の子ども達に、是非ジャパニーズ・ドリームを実現してほしいという思いを込めています。

埼玉県北部地域のガイダンスと当間さん

北部日本語学習支援連絡会(埼玉県)

松尾 恭子(AJALT 所属教師)

北部日本語学習支援連絡会は、埼玉県の北部地域で日本語支援の活動をしているメンバーが、進学情報を伝える必要性を感じて2003年に作ったものです。このメンバーは毎年、高校進学ガイダンスの実行委員として動いてきました。本当に必要な情報を当事者に伝えるにはどうしたらよいのかが課題でした。ガイダンスを深谷市内で実施した時に、当時の実行委員長の中村和江さんが、ご自分の学習塾でかつて英語や数学を学んでいた青年を実行委員会に誘ってきてくれました。その青年が、1990年にペルーから来日し深谷市内の小学校に編入した当間ミゲルさんでした。

当間さんは、自身の体験から次々とアドバイスをしてくれました。南米の方達に向けてのよりよい広報についてや、進路相談では何が必要なのかなど、当事者に情報を伝えるために大変重要なことでした。ガイダンスでは高校受験だけではなく進路全体を見渡す力が必要だという視点で、高校生の受験体験だけではなく、高校卒業後の学生や、社会人に広く話してもらう時間を作っています。ミゲルさんの楽しい進行で進みますが、この時間は高校進学のための重要なものとなっています。

この10年の中で、市や教育委員会や行政の協力も広がりました。当間さんは誰に何が必要なのかみることと、組織の全体を見渡すこと、その両方ができる大きな存在です。ここまでに10年かかりました。これからも、本当に必要な情報を伝えるために、共に歩いていきたいと私たちは考えています。

☆☆☆☆☆☆

～「未来をさがそう！」高校進学のためのガイダンス～

日時：9月15日（日）午後1時30分から4時30分まで

場所：埼玉県深谷（ふかや）市 上柴（かみしば）公民館（アリオ内）

最寄駅：JR 高崎線 深谷駅 駅からアリオ行きのシャトルバスがあります

主催：北部日本語学習支援連絡会

共催：深谷市教育委員会

参加費：無料
